

第3次大阪府歯科口腔保健計画（素案）に対する意見等について

資料2

【歯科口腔保健計画】 令和5年度 第1回大阪府生涯歯科保健推進審議会（令和5年8月24日実施）委員意見 等

NO	項目	意見等	計画内容への対応（案）
1	第3次大阪府 歯科口腔保健計 画（素案） ～全般～	歯磨きは「歯みがき」と表記してはどうか。磨きとするとゴシゴシというニュアンスになるので余計な力が入ってしまう。	「歯磨き」、「仕上げ磨き」→「歯みがき」、「仕上げみがき」へ修正しました。 （本文全体）
2	第3次大阪府 歯科口腔保健計 画（素案） ～全般～	歯周病の評価は数字だけで見ると悪く見えてしまう。目標などに重症化予防に関する文言も記載いただけると良い。	重症化予防の必要性に関する文言を府民の行動目標に追記しました。 （P31,33,35 マーカー部分）
3	第3次大阪府 歯科口腔保健計 画（素案） ～全般～	全ライフステージに歯磨剤（フッ化物の応用）の必要性を記載していただきたい。	第5章の各ライフステージにおける具体的な取組みの、ア、歯科疾患の予防、の項目にフッ化物の応用（フッ化物入り歯磨剤）に関する記載を追記し、内容修正しました。 （P28,30,31,33,35 マーカー部分）
4	第3次大阪府 歯科口腔保健計 画（素案） ～少年期～	国も示しているように、10代の歯肉炎の指標は入れるべきではないか。	10代に関する内容を追加しました。 ○記載およびグラフ図表11,13 （P12-15 マーカー部分） ○数値目標4.6 （P30、32 マーカー部分） ※現状値が2%台ですが、指標設定として如何でしょうか？
5	第3次大阪府 歯科口腔保健計 画（素案） ～少年期～	学校保健統計では客体が少ないならば、大阪府学校歯科医会のデータを使うべきではないか。	客体数確認したところ、統計上の一定数は担保されているという認識です。 （幼小中学校の221校、約112,000人を調査対象(R3)） 教育庁も各種統計データを使用する際には学校保健統計を用いていることから、引き続き、次期計画でも共通のデータベースを使用します。
6	第3次大阪府 歯科口腔保健計 画（素案） ～高齢期～	根面う蝕の指標は大切。今後、大阪府の指標としても準備は必要。	現状では根面う蝕に関するベース値をとれるデータは無いが、今後、国で予定している歯周検診マニュアルの改訂によって徐々に情報が集約できる見込み。指標の設定については次期計画の中間点検で検討を行う。現時点では本文に根面う蝕に関する認識の必要性を記載する形に留めています。 （P33 マーカー部分）
7	第3次大阪府 歯科口腔保健計 画（素案） ～要配慮者～	—	内部点検等による修正 「介護保険施設等」⇒「介護老人保健施設等」に修正 （P23 マーカー部分） ※府調査の文言と統一しました
8	第3次大阪府 歯科口腔保健計 画（素案） ～要配慮者～	—	内部点検等による修正 府民の行動目標の文言を修正しました（介助者を追加）。 （P35 マーカー部分） ※セルフケアについては、プロフェッショナルケアの対義語ではなく、あくまで本人、という意味で計画内の所々に記載されています。